

情報系システム機器等賃貸借仕様書

1. 事業名 情報系システム機器等賃貸借

2. 調達概要

(1) 目的

「情報系システム機器等賃貸借契約」の再リース契約が令和4年度中に終了するに当たり、広域連合職員が使用する情報系システム機器及び端末等（サーバ／パソコン／プリンター）を安定的に提供することを目的とする。契約には機器のハードウェア・ソフトウェアのシステム構築・インストール・設定・管理、保守、システム運用、データ移行等を含むものとする。なお、機器の設定・設置やグループウェア等については、現行のシステムを継承または同様の運用ができるものとし、必要に応じたシステムのバージョンアップを行う。また、適宜、広域連合職員への操作説明等を行い、情報系システム機器等の円滑な運用が可能であるようにする。

また、本仕様書の適用範囲は、情報系システムサーバ機器、ネットワーク機器及び端末・プリンタの賃貸借、設計、構築（ケーブル敷設、据付等）、動作検証、教育、研修、各種調整、データ消去及び保守等、受注者が実施する全ての事項に適用する。

(2) 賃貸借期間

令和5年1月1日から令和9年12月31日（60か月）

賃貸借開始日までに、本調達機器等の搬入・設置、本システムの設計・構築・インストール及び環境設定・動作検証・教育・研修等を完了し、運用可能な状態でサービスを開始できること。

なお、開始日において本システムが利用できない場合は、代替機能を受注者の責任と負担で提供すること。

(3) 性能及び機器の仕様、納入台数

別紙参照

(4) 納入場所

本調達機器等については、主に以下の設置場所に納入するものとする。

ア 端末等：埼玉県後期高齢者医療広域連合事務局内

（さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎4階）

イ サーバ等：当広域連合が指定するデータセンター

(5) 請求及び支払

ア 受注者は当月分の賃料を当月の末日までに請求するものとする。また、埼玉県後期高齢者医療広域連合（以下、「当広域連合」という。）は請求を受領後、翌月の末日までに支払うものとする。

イ 当広域連合の責に帰すべき事由により、前項の期限内に委託料を支払わないときは受注者に対し、支払期限の翌日から支払をした日までの日数に応じて、政府契約の支

払遅延防止等に関する法律第8条第1項の規定に基づき財務大臣が決定する率を乗じて計算した金額を遅延利息として支払うこととする。ただし、遅延利息の額が100円未満であるときは、遅延利息を支払うことを要せず、その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。

(6) 納入検査

本調達機器等の納入完了後に、埼玉県後期高齢者広域連合担当者による納入検査を行う。なお、納入検査には受注者が立ち会うこと。

納入検査の結果、本調達機器等の全部又は一部に契約不適合が発見された場合には、受注者は直ちに当該機器等を引き取り、その代替機器等を埼玉県後期高齢者広域連合の指定した日時までに納入すること。

(7) 成果物

受注者は以下の書類を紙媒体1部及び電子媒体（CD-R又はDVD-R）で1部提出すること。

なお、電子媒体については、当広域連合のクライアントPCにて読み取り可能な形式で提出すること。

ア 作業実施計画書

① 本業務の実施にあたり、業務全体の管理について、工程表や作業体制等を明記した作業実施計画書を契約締結後10日以内（休日（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項各号に掲げる日をいう。以下同じ。）を除く。）に提出し、当広域連合の承諾を得ること。

② 工程や作業体制に変更が生じた場合は、当広域連合と協議のうえ実施することとし、新規作業実施計画書をその都度提出すること。

イ 導入計画書

構築の実施内容や導入手順等の資料を提出すること。

ウ 作業報告書

総合試験、構築作業等の作業報告書を提出すること。

エ 運用管理手順書

① 当広域連合情報システム運用管理支援業者（サーバ納品場所たる業者。以下「運用管理支援業者」という）が、日々のオペレーションや障害等発生時に参照可能な手順書を作成すること。

② 運用管理支援業者がスキルを有することを前提とし、バックアップやパッチ適用等、最低限必要と考えられる項目に対して記述されていること。

③ 障害等発生時の一次切り分けの際に利用できる内容であること。

④ 故障したときの対応手順書（役割分担、連絡先等）を作成すること。

オ 引き上げ計画書

終了時における機器の引き上げに関し、当広域連合ネットワークの安定した稼働及び業務の継続に影響を与えないように、安全で確実な引き上げ作業計画を策定すること。

カ データ消去証明書

本調達機器の借用期間終了に伴い実施するデータ消去に関し、完全にデータが消去されたことを証明する書類を提出すること。

キ その他の成果物

その他、当広域連合との協議のうえ、必要と判断された成果物があれば、別途提出すること。

(8) 契約保証金

契約保証金は免除とする。

(9) 動産総合保険

ア 機器の賃貸借期間中、動産総合保険（新価特約付）又は同等の補償を付保すること。

イ 風水害（落雷・台風等を含む。）・火災及び過失（水こぼし、落下による破損、物の挿み込みによる液晶破損）は保険適用対象とし、地震・噴火・津波並びに故意及び重過失による損害は適用対象外とする。

ウ 賃貸借開始後、2 週間以内に付保証書の写し又は付保していることを証明する書類を提出すること。

(10) 操作説明

ア 納入する機器について、管理者用、一般使用者用の操作説明資料を作成し、提出すること。

イ 納入する機器について、管理者向け、一般使用者向けに操作説明を行うこと。

- ・ 管理者向け操作説明

情報系システムの運用を担当する職員を対象に、運用上必要となるシステムの操作説明を行うこと。具体的な内容は発注者と調整の上で決定すること。

- ・ 一般使用者向け操作説明

情報系システム用パソコンを使用する上で、必要となる操作説明を行うこと。具体的な内容は発注者と調整の上で決定すること。

ウ 操作説明にかかる費用については、本調達に含めること。

操作説明を行う回数は導入年度は2回とし、参加予定人数は1回あたり25名程度とする。契約期間内は発注者と協議の上、毎年1回、15名程度に実施する。

いずれの説明においても、会場は発注者が用意する。ただしネットワークは使用できないため留意すること。また、操作説明時の資料については受注者が印刷して提供すること。

3. 搬入・設置及び終了時の引き上げについて

(1) 本調達機器等の搬入・各種ケーブル接続や回線業者との調整等を含む設置及び賃貸借期間終了後のラックからの取外し作業及び引き上げは、受注者の責任と負担において行うものとする。また、賃貸借期間終了に伴う引き上げ等に際して当広域連合及び他業者との調整が必要な場合、受注者に発生する費用（調整に係る工数等）については本調達の範囲内とすること。

なお、端末等の納入場所である埼玉県後期高齢者医療広域連合事務局内については、情報系システムのほか複数のシステムが稼働していることから、本調達機器等の搬入前に埼玉県後期高齢者医療広域連合事務局内へ来庁し、別紙埼玉県後期高齢者医療広域連合事務局 端末・プリンター配置図を参考に、あらかじめLANケーブル・ハブ撤去及び再敷設を行うこと。再敷設するLANケーブルはカテゴリ6以上とし、ハブはギガビット対応、ループ検知機能搭載のものとする。LANケーブル・ハブ撤去及び再敷設にかかる費用については、本調達に含めること。

(2) 当広域連合の指示する場所に搬入・設置を行い、梱（こん）包箱・残ケーブル等当該機器の利用に不要なものは、設置後速やかに撤去すること。なお、運用開始日以前に当該機器の設置場所の変更が生じた場合は、当広域連合の指示に従って移設等を行うこと。

(3) 本調達機器等に付随するCD-ROM等の電子媒体については、当該機器の運用及び保守に必

要なもののみ当広域連合において保管し、それ以外は受注者において保管すること。

- (4) 搬出入のルート等を当広域連合の指示に従い、実施すること。また、必要な手続きについては遅滞なく行うこと。
- (5) サーバをIDCに設置するため、賃貸借開始日までに発注者を通じて、運用管理支援業者（サーバ設置業者）に対して教育・研修等を1回、3名程度に行い、運用引き継ぎを円滑に行うこと。
運用管理支援業者にて日々のオペレーション、障害対応を実施できるよう運用管理手順書を作成すること。
- (6) 本調達機器の借入期間終了時、新システムが完全に稼働することを確認した後、受注者は既存機器等のうち使用しないこととなる機器等を、当広域連合の施設内より撤去・搬出すること。その際、各機器を接続している配線についても撤去する。
- (7) 本調達機器の借入期間終了時、調達機器のラックからの取外し・撤去・搬出するために必要な全ての経費（養生品、機材、車両等を含む）は、受注者の負担で用意すること。
- (8) 機器の引き上げ作業に関連して、当広域連合及び運用管理支援業者との各種調整や協議等を受注者の責任と負担において行うこと。
- (9) 当広域連合ネットワークの安定した稼働及び業務の継続に影響を与えないように、安全で確実な引き上げ作業計画を策定すること。
- (10) 当広域連合と協議のうえ、引き上げ作業計画書を作成し、承諾を得ること。
- (11) 当広域連合の業務及び一般利用者への影響を最小限に抑える作業実施日及び時間帯を検討し、当広域連合の承諾を得ること。
- (12) 引き上げる機器に内蔵又は付属する電磁的記録媒体に保存されているデータについて、機器を撤去した後データ復元ソフトウェア等を用いても再度データを入手できないよう、撤去した機器に含まれるデータを完全に消去すること。
消去の方法は、引き上げ計画書の作成において当広域連合と協議し選択すること。
また、データ消去についてデータ消去証明書を発行すること。
- (13) 撤去処分は法律を遵守の上、適正に処理すること。
産業廃棄物が排出されるにあたっては、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストの写しを提出すること。
- (14) 装置の追加を希望する場合は、その追加装置について改めて別の契約を締結すること。
- (15) 契約期間中のソフトのバージョンアップ、修正プログラム、サービスパックの適用作業なども含むこと。（期間中にリリースされ、広域連合が必要と判断したもの）
ただし、OSやPKGのメジャーバージョンアップ作業費用については、本調達には含まない。
- (16) 契約期間中に追加導入したソフトウェアのインストール、アップデートなどの対応は、本調達には含まないものとする。
- (17) 並行稼働期間においても滞りなくシステムに関連する業務が行えるよう、ケーブル等物資面も含め最大限善処すること。

4. 条件

- (1) 機器の仕様及び台数は、別紙リース参考機器明細書記載のとおり又は同等品とする。
- (2) 賃借料積算に当たっては、機器類関係及び設定関係それぞれの事業費を積算し、内訳が判るようにすること。
- (3) 賃借料には動産総合保険料を含めること。
- (4) 機器類及びソフト類すべてのユーザ登録書類を作成すること。
- (5) 各設置場所における、搬入・設定等については、業務の妨げにならないよう、また、搬入・設定等が滞りなく行えるよう、事前に担当者と十分に調整の上、実施すること。

機器の設置にあたって必要となるハブ、LANケーブル、電源タップは、3(1)で事務局内に再敷設したLANケーブル及びハブを除き、広域連合が用意したものを使用すること。

- (6) 既設プリンタのドライバ導入、接続及び、ActiveDirectory の参加設定を行うこと。また、グループウェアの正常な動作を確認し、グループウェアの文書、メールが正常に閲覧できるようにすること。
- (7) いわゆるショップブランド（ホワイトボックス、オリジナルブランド）系のパソコンは認めない。また、導入時点で現行機とすること。
- (8) 機器の搬入、設定後は完了報告書を遅滞なく提出すること。
- (9) 本賃貸借では、個人番号（「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年5月31日法律第27号）」第2条第5項に定めるものをいいます）をその内容に含む電子データを取り扱わないものとする。
- (10) 個人番号を含む記憶装置が存在する場合、受注者の技術員が当該個人番号を閲覧できないよう、発注者側でアクセス制御を行うものとする。
- (11) 作業体制
 - ア 本調達の確実な実施を担保するためのプロジェクト体制を整えること。
 - イ プロジェクト体制表の作成にあたっては、作業責任者、役割、連絡先を明確にすること。

5. 一般事項

請負者は設置に伴う災害・資材の落下・放置などによる事故防止に努め、指定期間内の納品・設置・動作試験を厳守すること。

6. その他

- (1) 契約内容の変更が必要な場合は、両者の協議の上行うものとする。
- (2) 本仕様書についての不明等を理由に異議を申し立てることはできないものとする。
- (3) 本仕様書に基づき契約を締結した場合、会計年度の翌年度以降において、歳出予算における当該契約金額に基づく予算措置がされない場合は、その契約を変更または解除するものとする。なお、その場合において、受注者は損害賠償の請求をすることができるものとする。
- (4) 装置の取替えまたは改造を行う場合、あらかじめ文書をもって受注者の承諾を得、発注者の負担で行うものとする。
- (5) 装置の取替えまたは改造によって契約内容を改訂する必要がある場合は、変更契約の締結をするものとする。
- (6) 装置に他の機械器具を取付ける必要がある場合は、あらかじめ文書をもって受注者の承諾を得るものとする。
- (7) 受注者は前項の他の機械器具の取付けが装置の機能に支障をあたえるものと認めたときは、これを拒否することができる。

【問い合わせ】 〒330-0063

埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎4階

埼玉県後期高齢者医療広域連合 総務課 総務企画担当 町田、森

電話 048-833-3222

(別紙)

1. グループウェア

- ア Webブラウザまたは専用の管理ツールから各機能を利用できること。
- イ クライアント環境ですべての機能を利用できること。
- ウ OSはWindows10以上、インターネットブラウザはMicrosoft Edge(IEモードでの利用も可とする。)に対応すること。
- エ 以下の機能が利用できること。ただし、使用開始後に管理者の権限、または受注で機能及びそのアイコンを非表示にして使用できないように設定できること。この受注で新たな支払いの発生は認めない。
 - ① 運用管理機能（ユーザの追加・変更・削除、課・担当ごとの権限設定、個人ごとにパスワードが設定できる、アクセスログが取得できる）
 - ② 電子メール機能（外部向け・内部向け）
 - ③ 施設・設備予約機能
 - ④ 掲示板機能（公開日時・範囲を設定可能）
 - ⑤ スケジュール機能
 - ⑥ アドレス帳
- オ 担当者の端末を使って管理者用の機能を利用できること。その際、利用者向け画面と同じ画面で管理者機能の操作が可能であること。
- カ オフィス（組織や担当）、オーナー（ユーザー）の構成で情報を管理できること。
- キ 移行に当たっては、既存システムの運用・保守を担当している業者と、綿密な連携を行い、円滑な移行を行うこと。

2. サーバ機器

(1) 外部メールDNSサーバ（数量：1式）

- ア CPUはXeonプロセッサ(4コア/4スレッド、3.4GHz、TDP65W)以上であること。
- イ ハードディスクはSASディスクドライブとし、回転数は10,000rpm以上とする。
- ウ ハードディスク容量は300GB以上とする。
- エ ハードディスクのホットスワップに対応していること。
- オ RAID1またはRAID5の構成とする。
- カ DVD-ROMドライブを内蔵すること。
- キ メモリは8GB以上とする。
- ク MTU変更が可能なこと。
- ケ ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- コ 電源が二重化されていること。
- サ 以下の温度/湿度条件で動作すること。
 - シ 動作時：10～35℃/8～90%（ただし結露しないこと）
 - ス 保管時：0～40℃ / 20～80%（ただし結露しないこと）
- セ 最大消費電力は500VA / 500W以内であること。
- ソ メール・Web・DNSサーバ機能を実現すること。
- タ FTPサーバ機能を実現すること。
- チ NTPサーバ機能を実現すること。
- ツ 仮想ドメインに対応していること。
- テ サーバOSはRed Hat Enterprise Linux 7.7以降とすること。
- ト メールプールを本体のハードディスク、または他のサーバ/PCに転送(FTP/Samba)し、バックアップできること。バックアップ日時についてはスケジュール設定できること。

- と。
- ナ インターネット標準プロトコル (SMTP/POP3/IMAP4)を使用したメールサーバ機能を搭載していること。
- ニ POP/IMAPがSSL接続に対応していること。
- ヌ メールサーバの不正中継対策のためのSMTP-AUTHに対応していること。
- ネ メールリスト機能を搭載していること。
- ノ スпамメール対策が可能であること。
- ハ 初期導入設定が可能なこと。かつ日本語マニュアル/ヘルプが添付されていること。
- ヒ CPU負荷率やメモリ使用率、ファイル空き容量などサーバの稼働状況をGUIの運用管理ツール(日本語・Webベース)から管理できること。
- フ 通信をパケットレベルで確認する必要がある場合に、GUIの運用管理ツール(日本語・Webベース)からパケットキャプチャファイルが取得可能なこと。
- ヘ リモート接続専用アカウントを作成可能なこと。
- ホ サーバの稼働状況監視や障害検知を行う運用管理用チップを標準で搭載していること。本チップにより、温度や電圧/電流、FANなどの異常を速やかに検知可能となる機能を有すること。
- マ サーバ障害時に素早く対応できるように、ネットワーク上から管理可能なサーバ監視用アプリケーションを提供すること。本アプリケーションにより、サーバのハードウェア構成情報/稼働状況/障害情報を運用管理マシンにて管理・監視が可能なこと。

(2) インターネット接続代理サーバ (Proxy) (数量：1式)

- ア CPUはXeonプロセッサ(4コア/4スレッド、3.4GHz、TDP65W)以上であること。
- イ ハードディスクはSASディスクドライブとし、回転数は10,000rpm以上とする
- ウ ハードディスク容量は300GB以上とする。
- エ ハードディスクのホットスワップに対応していること。
- オ RAID1またはRAID5の構成とする。
- カ DVD-ROMドライブを内蔵すること。
- キ メモリは8GB以上とする。
- ク MTU変更が可能なこと。
- ケ ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- コ 電源が二重化されていること。
- サ 以下の温度/湿度条件で動作すること。
- シ 動作時 : 10~35℃/8~90%(ただし結露しないこと)
- ス 保管時 : 0~40℃ / 20~80% (ただし結露しないこと)
- セ 最大消費電力は500VA / 500W以内であること。
- ソ フォワードプロキシ機能を実現すること。
- タ HTTP/HTTPS/FTP/FTPoverHTTP/ストリーミングoverHTTP、のプロトコルをサポートできること。
- チ 高負荷時のキャッシュスルー機能を有すること。
- ツ 任意のHTTPヘッダを削除する (セキュリティ上、Refererヘッダを削除したい場合等)、Viaヘッダを付加しないなどHTTPヘッダの扱いに関しての設定ができること。
- テ IPアドレス、ブラウザ種別、プロトコル種別でアクセス許可/禁止などのアクセス制御が可能なこと。
- ト ICAP型Webフィルタリングを行う場合、複数のICAPサーバ(最大16台)へ冗長化および負荷分散が行えること。

- ナ 透過型プロキシ経由でのアクセスを禁止しているWebサイトについては、IPアドレス指定に加えてホスト名指定でのバイパスも行えること。
- ニ CERN/ICP/CARPの3つのプロトコルで階層的な接続が可能なこと。
- ヌ 事前に設定することで、DNSサーバを使用せずに、クライアントがホスト名でアクセスできること。
- ネ NTLMを使用して自動的にユーザ情報を取得できること。
- ノ バックアップデータからリストアすることで、設定変更やシステムの復旧が可能なこと。
- ハ アクセスログ転送のリトライ機能を持つこと。
- ヒ ログ領域のサイズ指定が可能なこと。
- フ ログ形式は、『Squid形式』『拡張形式』『CLF』から選択できること。
- ヘ Webアクセスの統計情報をブラウザ上でグラフ表示できること。
- ホ 自己監視および復旧機能を有すること。
- マ プロキシ/Webフィルタリングサーバ専用機であること。
- ミ サーバOSはRed Hat Enterprise Linux 7.7以降とすること。
- ム Cache-Controlヘッダ、またはPragmaヘッダに指定されている“no-cache”に対応した処理をする/しないを設定可能なこと。
- メ フォワードプロキシで最大で約2,200リクエスト/秒の性能まで拡張可能であること（1アクセス平均14KBとして算出）。
- モ フォワードプロキシ（Webフィルタリング利用時）で最大で約1,980リクエスト/秒の性能まで拡張可能であること（1アクセス平均14KBとして算出）。
- ヤ 最大セッション数が16,000以上であること。（リバースプロキシ時）
- ユ CPU負荷率やメモリ使用率、ファイル空き容量などサーバの稼働状況をGUIの運用管理ツール（日本語・Webベース）から管理できること。
- ヨ サーバ障害時に素早く対応できるように、ネットワーク上から管理可能なサーバ監視用アプリケーションを提供すること。本アプリケーションにより、サーバのハードウェア構成情報/稼働状況/障害情報を運用管理マシンにて管理・監視が可能なこと。

(3) ウイルス対策サーバ（数量：1式）

- ア CPUはXeonプロセッサ（4コア/4スレッド、3.4GHz、TDP65W）以上であること。
- イ ハードディスクはSASディスクドライブとし、回転数は10,000rpm以上とする。
- ウ ハードディスク容量は500GB以上とする。
- エ ハードディスクのホットスワップに対応していること。
- オ RAID1またはRAID5の構成とすること。
- カ DVD-ROMドライブを内蔵すること。
- キ メモリ容量は4GB以上とすること。
- ク ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- ケ 電源が二重化されていること。
- コ 動作環境温度として、10℃～35℃で問題がないこと。
- サ サーバOSはWindows Server 2019 Standard 以降とすること。
- シ CPU負荷率やメモリ使用率、ファイル空き容量などサーバの稼働状況をGUIの運用管理ツール（日本語・Webベース）から管理できること。
- ス サーバ障害時に素早く対応できるように、ネットワーク上から管理可能なサーバ監視用アプリケーションを提供すること。本アプリケーションにより、サーバのハードウェア構成情報/稼働状況/障害情報を運用管理マシンにて管理・監視が可能なこと。

(4) ゲートウェイ対策サーバ (数量: 1式)

- ア CPUはXeonプロセッサ(4コア/4スレッド、3.4GHz、TDP65W)以上であること。
- イ ハードディスクはSASディスクドライブとし、回転数は10,000rpm以上とする。
- ウ ハードディスク容量は500GB以上とする。
- エ ハードディスクのホットスワップに対応していること。
- オ RAID1またはRAID5の構成とすること。
- カ DVD-ROMドライブを内蔵すること。
- キ メモリ容量は4GB以上とすること。
- ク ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- ケ 電源が二重化されていること。
- コ 動作環境温度として、10℃～35℃で問題がないこと。
- サ サーバOSはRed Hat Enterprise Linux 8.1以降とすること。
- シ CPU負荷率やメモリ使用率、ファイル空き容量などサーバの稼働状況をGUIの運用管理ツール(日本語・Webベース)から管理できること。
- ス サーバ障害時に素早く対応できるように、ネットワーク上から管理可能なサーバ監視用アプリケーション。本アプリケーションにより、サーバのハードウェア構成情報/稼働状況/障害情報を運用管理マシンにて管理・監視が可能なこと。

(5) 情報共有化サーバ (数量: 1式)

- ア CPUはXeonプロセッサ(8コア/16スレッド、2.1GHz、TDP 85W)以上であること。
- イ ハードディスクはSASディスクドライブを提供することとし、回転数は10,000rpm以上とする。
- ウ ハードディスク容量は1TB以上とする。
- エ ハードディスクのホットスワップに対応していること。
- オ ハードディスクの故障に備えて、予め予備ディスクを組み込むこと。また、ホットスペアに対応していること。
- カ RAID1またはRAID5の構成とすること。
- キ DVD-ROMドライブを内蔵すること。
- ク メモリ容量は8GB以上とする。
- ケ ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- コ 電源が二重化されていること。
- サ ファンが冗長化されていること。
- シ 動作環境温度が、10℃～35℃で問題がないこと。
- ス データバックアップのための集合装置を用意すること。
- セ データバックアップのためのカートリッジを用意すること。
- ソ サーバOSはWindows Server 2019 Standard 以降とすること。
- タ CPU負荷率やメモリ使用率、ファイル空き容量などサーバの稼働状況をGUIの運用管理ツール(日本語・Webベース)から管理できること。
- チ サーバ障害時に素早く対応できるように、ネットワーク上から管理可能なサーバ監視用アプリケーションを提供すること。本アプリケーションにより、サーバのハードウェア構成情報/稼働状況/障害情報を運用管理マシンにて管理・監視が可能なこと。

(6) 情報一元化対応サーバ (ActiveDirectoryサーバ1) (数量: 1式)

- ア CPUはXeonプロセッサ(8コア/16スレッド、2.1GHz、TDP 85W)以上であること。
- イ ハードディスクはSASディスクドライブとし、回転数は10,000rpm以上とする。
- ウ ハードディスク容量は500GB以上とする。

- エ ハードディスクのホットスワップに対応していること。
- オ RAID1またはRAID5の構成とする。
- カ DVD-ROMドライブを内蔵すること。
- キ メモリ容量は8GB以上とする。
- ク ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- ケ 電源が二重化されていること。
- コ ファンが冗長化されていること。
- サ データバックアップのための集合装置を用意すること。
- シ データバックアップのためのカートリッジを用意すること。
- ス 動作環境温度として、10℃～35℃で問題がないこと。
- セ サーバOSはWindows Server 2019 Standard 以降とすること。
- ソ CPU負荷率やメモリ使用率、ファイル空き容量などサーバの稼働状況をGUIの運用管理ツール(日本語・Webベース)から管理できること。
- タ サーバ障害時に素早く対応できるように、ネットワーク上から管理可能なサーバ監視用アプリケーションを提供すること。本アプリケーションにより、サーバのハードウェア構成情報/稼働状況/障害情報を運用管理マシンにて管理・監視が可能なこと。

(7) 情報一元化対応サーバ (ActiveDirectoryサーバ2) (数量：1式)

- ア CPUはXeonプロセッサ(4コア/4スレッド、3.4GHz、TDP65W)以上であること。
- イ ハードディスクはSASディスクドライブとし、回転数は10,000rpm以上とする。
- ウ ハードディスク容量は500GB以上とする。
- エ ハードディスクのホットスワップに対応していること。
- オ RAID1またはRAID5の構成とすること。
- カ DVD-ROMドライブを内蔵すること。
- キ メモリ容量は8GB以上とすること。
- ク ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- ケ 電源が二重化されていること。
- コ 動作環境温度として、10℃～35℃で問題がないこと。
- サ サーバOSはWindows Server 2019 Standard 以降とすること。
- シ CPU負荷率やメモリ使用率、ファイル空き容量などサーバの稼働状況をGUIの運用管理ツール(日本語・Webベース)から管理できること。
- ス サーバ障害時に素早く対応できるように、ネットワーク上から管理可能なサーバ監視用アプリケーションを提供すること。本アプリケーションにより、サーバのハードウェア構成情報/稼働状況/障害情報を運用管理マシンにて管理・監視が可能なこと。

(8) クライアント運用管理ソフトウェア用サーバ (数量：1式)

- ア CPUはXeonプロセッサ(4コア/4スレッド、3.4GHz、TDP65W)以上であること。
- イ ハードディスクはSASディスクドライブとし、回転数は10,000rpm以上とする。
- ウ ハードディスク容量は2TB以上とする。
- エ ハードディスクのホットスワップに対応していること。
- オ RAID1またはRAID5の構成とすること。
- カ DVD-ROMドライブを内蔵すること。
- キ メモリ容量は16GB以上とすること。
- ク ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- ケ 電源が二重化されていること。
- コ 動作環境温度として、10℃～35℃で問題がないこと。

- サ サーバOSはWindows Server 2019 Standard 以降とすること。
- シ CPU負荷率やメモリ使用率、ファイル空き容量などサーバの稼働状況をGUIの運用管理ツール(日本語・Webベース)から管理できること。
- ス サーバ障害時に素早く対応できるように、ネットワーク上から管理可能なサーバ監視用アプリケーションを提供すること。本アプリケーションにより、サーバのハードウェア構成情報/稼働状況/障害情報を運用管理マシンにて管理・監視が可能なこと。
- セ Skyseaサーバとする。

(9) 機密情報保護ソフトウェア用サーバ (数量：2式)

- ア CPUはXeonプロセッサ(4コア/4スレッド、3.4GHz、TDP65W)以上であること。
- イ ハードディスクはSASディスクドライブとし、回転数は10,000rpm以上とする。
- ウ ハードディスク容量は500GB以上とする。
- エ ハードディスクのホットスワップに対応していること。
- オ RAID1またはRAID5の構成とすること。
- カ DVD-ROMドライブを内蔵すること。
- キ メモリ容量は8GB以上とすること。
- ク ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- ケ 電源が二重化されていること。
- コ 動作環境温度として、10℃～35℃で問題がないこと。
- サ サーバOSはWindows Server 2019 Standard 以降とすること。
- シ CPU負荷率やメモリ使用率、ファイル空き容量などサーバの稼働状況をGUIの運用管理ツール(日本語・Webベース)から管理できること。
- ス サーバ障害時に素早く対応できるように、ネットワーク上から管理可能なサーバ監視用アプリケーションを提供すること。本アプリケーションにより、サーバのハードウェア構成情報/稼働状況/障害情報を運用管理マシンにて管理・監視が可能なこと。

(10) 障害監視サーバ (数量：1式)

- ア CPUはXeonプロセッサ(4コア/4スレッド、3.4GHz、TDP65W)以上であること。
- イ ハードディスクはSASディスクドライブとし、回転数は10,000rpm以上とする。
- ウ ハードディスク容量は500GB以上とする。
- エ ハードディスクのホットスワップに対応していること。
- オ RAID1またはRAID5の構成とすること。
- カ DVD-ROMドライブを内蔵すること。
- キ メモリ容量は8GB以上とすること。
- ク ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- ケ 電源が二重化されていること。
- コ 動作環境温度として、10℃～35℃で問題がないこと。
- サ サーバOSはRed Hat Enterprise Linux 8.1以降とすること。
- シ CPU負荷率やメモリ使用率、ファイル空き容量などサーバの稼働状況をGUIの運用管理ツール(日本語・Webベース)から管理できること。
- ス サーバ障害時に素早く対応できるように、ネットワーク上から管理可能なサーバ監視用アプリケーションを提供すること。本アプリケーションにより、サーバのハードウェア構成情報/稼働状況/障害情報を運用管理マシンにて管理・監視が可能なこと。

(11) ファイルサーバ (数量 : 1式)

- ア CPUはXeonR Bronze3206R(1.90GHz, 8コア/8スレッド, 11MB)以上であること。
- イ ハードディスクはSASディスクドライブとし、回転数は7,200rpm以上とする。
- ウ ハードディスク容量1TB以上のディスクを4台以上内蔵していること。
- エ ハードディスクのホットスワップに対応していること。
- オ ハードディスクの故障に備えて、ホットスペアに対応していること。
- カ RAID1またはRAID5の構成とすること。
- キ ファイル共有が可能な容量として、2TB以上確保可能なこと。
- ク DVD-ROMドライブを内蔵すること。
- ケ メモリ容量は8GB以上とすること。
- コ ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- サ 電源が二重化されていること。
- シ ファンの冗長化ができること。
- ス 動作環境温度として、10℃～35℃で問題がないこと。
- セ サーバOSはWindows Server IoT 2019 for Storage Standard 以降とすること。
- ソ CPU負荷率やメモリ使用率、ファイル空き容量などサーバの稼働状況をGUIの運用管理ツール(日本語・Webベース)から管理できること。
- タ サーバ障害時に素早く対応できるように、ネットワーク上から管理可能なサーバ監視用アプリケーションを提供すること。本アプリケーションにより、サーバのハードウェア構成情報/稼働状況/障害情報を運用管理マシンにて管理・監視が可能なこと。

(12) サーバラック関連

- ア 17型LCDコンソールユニット (1式) を用意すること。
- イ サーバスイッチユニット (1式) を用意すること。
- ウ ラックマウントタイプで、1Uに収納できること。
- エ その他、各サーバを接続するために必要なものがあれば用意すること。

3. ネットワーク機器

(1) ルータ機器 (数量 : 1式)

- ア GigabitEthernet を5 ポート搭載していること。
- イ GigabitEthernet のうち4 ポートが、L2スイッチングハブとして動作すること。
- ウ 最大2Gbps のIPv4 転送性能を有すること。
- エ OSPF は、内部ルータ、ABR、ASBR、スタブエリア、NSSA に対応していること。
- オ NAT 機能を有すること。また静的な変換と動的な変換の端末を混在できること。
- カ NAT 機能を有すること。また特定のポート番号と端末を固定的に変換する機能を有すること。
- キ ポートベースVLAN が利用可能なこと。
- ク 静的設定はリンクアグリゲーション機能が利用可能なこと。
- ケ IPsecにおける暗号・認証処理、秘密鍵生成処理をハードウェアで実現していること。
- コ IPsec (AES256, SHA-1) で最大1.3Gbps の性能を有すること。
- サ SNMPv1、SNMPv2c、SNMPv3 に対応していること。
- シ Telnet、SSHによるリモート管理が可能なこと。
- ス 運用中に本装置の全体を停止することなく、基本設定情報の変更が可能であること。
- セ 19 インチラック設置が可能なこと。

(2) DMZ 用HUB 機器 (数量 : 1式)

- ア 10/100/1000BASE-Tポートを8ポート標準搭載すること。
- イ SFPスロットを2スロット標準搭載すること。
- ウ Auto Negotiation に対応し、固定設定でも利用可能なこと。
- エ Flash Memory : 256Mbyte 以上、RAM : 512Mbyte 以上を有すること。
- オ 16000 個以上のMAC アドレスを保持できること。
- カ マニュアルのLink Aggregation、LACP によるLink Aggregation が利用可能なこと。
- キ 閾値を超えた場合、全てのブロードキャストパケットのブロック⇒自動復旧や、ポートshutdown⇒手動復旧ができること。
- ク SNMP エージェント機能を有し、通信機器管理装置からMIB 情報を採取可能であること。SNMPv1/v2c/v3 に対応のこと。
- ケ NTP 機能により、時間同期が可能であること。
- コ 機器搭載架(19 インチラック)に搭載可能であること。
- サ 19 インチラック搭載金具を添付していること。
- シ 省エネ法 (エネルギーの使用の合理化に関する法律) が定めるエネルギー消費効率の基準値を達成していること。

(3) 内部サーバ用HUB (数量 : 1式)

- ア 10/100/1000BASE-Tポートを48ポート標準搭載すること。
- イ Auto Negotiation に対応し、固定設定でも利用可能なこと。
- ウ Flash Memory : 512Mbyte 以上、RAM : 2Gbyte 以上を有すること。
- エ 32000 個以上のMAC アドレスを保持できること。
- オ マニュアルのLink Aggregation、LACP によるLink Aggregation が利用可能なこと。
- カ SNMP エージェント機能を有し通信機器管理装置からMIB 情報を採取可能であること。
- キ SNMPv1/v2c/v3 に対応のこと。
- ク NTP 機能により、時間同期が可能であること。
- ケ 機器搭載架(19 インチラック)に搭載可能であること。
- コ 19 インチラック搭載金具を添付していること。

(4) ファイアウォール機器 (数量 : 1式)

- ア 1GbE銅ポートを8個以上有すること。
- イ 1GbE銅ポートの内2ポートは、透過型構成の際の機器障害時でも通信が確保できること。
- ウ トラフィック処理に影響を与えないように、管理専用の1GbE銅ポートを1ポート以上有すること。
- エ ラックマウント搭載型であり、占有ユニット数が1U/台であること。
- オ 最大消費電力が200W以下であること。
- カ AC100Vで動作可能であること。
- キ IPsecだけでなくSSL-VPNにも対応していること。
- ク 製品の品質保証レベルの証明としてEAL 4+を取得していること。
- ケ ファイアウォールスループット1.9Gbps以上であること。
- コ アンチウィルスや侵入検知の定義ファイルが自動更新可能であり、必要によって管理者が手動で更新できること。
- サ インターネットに接続できないクローズド環境であっても、アンチウィルスや侵入検知の定義ファイルが更新可能であること。
- シ 接続ノード数が無制限であること。

- ス SMTP、POP3、IMAP、HTTP、CIFSプロトコルでのウイルススキャンに対応していること。
また、その他のTCPプロトコルでのウイルススキャンに対応していること。
- セ 3000以上シグネチャデータベースを利用してアプリケーションコントロールが可能であること。
- ソ WinnyなどのP2P通信を検出及び制御が可能であること。
- タ VLANインターフェースに対応可能であること。
- チ IPv4/v6、スタティックルート、ポリシーベースルーティング、マルチキャストに対応していること。
- ツ ステートフルインスペクションによるフィルタリング機能を有すること。
- テ H. 323やSIPプロトコルのルーティング及びNAT機能を有すること。
- ト Syn Floodなどの不正アクセス検知機能を有すること。
- ナ 帯域制御機能を有すること。
- ニ Web Proxy Forwardingに対応していること。
- ヌ NTPによる時刻同期に対応していること。
- ネ WebGUIによる日本語での管理機能を有すること。
- ノ CLI、SSHによる管理機能を有すること。
- ハ ログレポート機能として、Syslog、SNMP、メールに対応していること。

4. 端末機器

台数50台【ノートパソコン型】

項番	項目	仕様
1	CPU	・Core i3-10110U (2.10GHz)以上
2	メモリ	・8GB 以上
3	補助記憶装置	
	HDD	・内蔵 500GB 以上
	光学ドライブ	・内蔵 DVD-ROM
4	表示装置	
	ディスプレイ	・15.6 型ワイド HD 液晶
	解像度	・1366×768 ドット
5	入力装置	
	マウス	・USB マウス (光学式またはレーザー)
	キーボード	・日本語キーボード (JIS 配列準拠)
6	電源	
	供給方式	・AC アダプタ
	バッテリー	・リチウムイオンバッテリー
7	ネットワーク	・1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応
8	インターフェース	
	USB	・USB3.0以上 が 3 ポート以上あること。

		外部C R T	・Mini D-SUB 15ピン×1、HDMI ×1
		SD カード	・SD カードスロット×1
		カメラ	・内蔵しないこと
9	保守		・5年間翌日出張修理保守
10	筐体サイズ		・W380mm×D260mm×H25mm 以下
11	環境配慮事項		<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法に基づくエネルギー消費効率が、2011年度基準で「AAA」以上、または2022年度基準で「A」以上であること。 ・省電力化の機能を有すること。 ・最新の国際エネルギースタープログラムに対応していること。 ・最新PCグリーンラベルの審査基準に対応していること。 ・エコマーク取得製品であること
12	OS		<ul style="list-style-type: none"> ・OSは長期サービスチャネルとする。 <p>ただし長期サービスチャネル対応の端末調達が難しい場合はMicrosoft Windows10 Professional 64bitでも可とする</p>
13	リカバリディスク		・1式用意すること。
14	ソフトウェア		<ul style="list-style-type: none"> ・Office Professional 2019 又は Office Professional 2021 ・圧縮・解凍ソフト（パスワード付き圧縮が可能なこと） ・Google Chrome ・一太郎ビューア

5. プリンタ機器
台数1台

項番	項目	仕様	
1	印刷方式	・LED (レーザー) 乾式電子写真方式	
2	接続方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク接続 ・TCP/IP 	
3	解像度	・1200 × 2400dpi 以上	
4	印刷速度	A4	・55 頁/分 (モノクロ・カラー・横送り・片面) 以上
		A3	・27 頁/分 (モノクロ・カラー・横送り・片面) 以上
5	ファーストプリント	<ul style="list-style-type: none"> ・3.5 秒以下 (モノクロ) ・5.0 秒以下 (カラー) 	
6	メモリ	・4GB 以上	

7	給紙容量	<ul style="list-style-type: none"> ・560 枚以上（標準トレイ） ・100 枚以上（手差しトレイ） ・560 枚以上（追加トレイ 1 段） 	
8	インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> ・イーサネット（1000BASE-T/100BASE-TX /10BASE-T）、USB3.0 	
9	耐久印刷枚数	<ul style="list-style-type: none"> ・150 万頁印刷（A4 ヨコ）もしくは 5 年の早い方 	
10	両面印刷	<ul style="list-style-type: none"> ・可能なこと 	
11	トナーセーブモード	<ul style="list-style-type: none"> ・標準印刷の他に 3 段階以上のトナーセーブモードを有すること。 	
12	印刷保証	<ul style="list-style-type: none"> ・カラートナーが無くなってもブラックトナーで継続印刷ができること。 	
13	ドライバーセットアップ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・推奨したいドライバ設定をエンドユーザに配布できること また、エンドユーザによる設定変更を制限できること 	
15	PDFダイレクト印刷	<ul style="list-style-type: none"> ・PDF ファイルを AdobeReader 等のアプリケーションを起動せず印刷できること ・l p r コマンドを利用したシステム連携も可能なこと 	
16	本体寸法	大きさ	<ul style="list-style-type: none"> ・幅 620×奥行 723×高さ 810mm 以下
		質量	<ul style="list-style-type: none"> ・83.1kg 以下（消耗品含む、追加トレイ含まない）
17	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本体添付トナーの他に12,000枚印刷可能なトナー（純正品トナー）を初回添付すること ・購入時に生産終了していないこと ・本システムで使用するPCのOSに対応したドライバを提供可能なこと ・国際エネルギースタープログラムに適合していること ・エコマークを取得していること ・グリーン購入法に適合していること ・保守については原則当日保守対応が可能なこと。 	

※プリンタの消耗品は本調達には含まないものとする（消耗品：トナーカートリッジなど）

6. 運用

(1) 概要

広域連合事務局が使用するサーバ・端末・ネットワークの管理・設定・障害の復旧といった運用サポートを行う。

(2) 体制

- ア 広域連合との緊密な連携のもとに運用サポートを行うこと。
- イ 適切な人員を配置し、最高技術をもって作業の実施に当たること。
- ウ 連絡体制を明確にすること。
- エ 本システムに障害が発生した場合に備えて、迅速に対応できる体制を設けること。

オ 平日（土、日、祝日除く）の午前9時から午後5時の時間帯は電話連絡を受け付けること。

（上記以外の日時、時間帯の緊急連絡先（メール等）を設けること。）

(3) 対象機器およびソフトウェア

ア データセンターに設置してあるサーバ

イ 広域連合事務局（埼玉県浦和合同庁舎）の端末・ネットワーク・プリンタ

ウ 本システムで使用するソフトウェア

- ア. ウイルス対策ソフト
- イ. スпамメール対策ソフト
- ウ. グループウェア
- エ. バックアップ用ソフト
- オ. クライアント運用管理ソフト
- カ. 機密情報保護ソフト
- キ. 障害監視ソフト

(4) 業務内容

ア 定期点検

- ア. データセンターに設置してあるサーバについて、稼働状況の確認を行うこと。
点検回数は、年6回（2ヶ月に1回）とする。

イ 人事異動対応

- ア. 職員の人事異動にともなうサーバ・端末の設定変更作業を行うこと。
- イ. 修正プログラムの適用
- ウ. 必要に応じて、サーバおよび端末への修正プログラムを適用すること。

ウ 問い合わせ

- ア. 職員からの運用・保守に関する技術的質問に対して、回答を行うこと。

エ 障害対応

- ア. 障害箇所の切り分けおよび特定を行い、復旧（または回避）作業を行うこと。

オ 障害監視

ア. 基本要件

- ・ 設定書および操作説明書に基づき、システムの稼働状況に関する監視を実施すること。
- ・ 障害を検知した場合や、しきい値を超えた場合には、即時にメールにて通報すること。
- ・ 次の項目について、担当職員と協議の上で設定すること。
 - ① 監視対象
 - ② 監視項目
 - ③ 監視間隔
 - ④ しきい値
 - ⑤ 障害レベル
 - ⑥ メール宛先
- ・ 定期的アラートの発生状況を検証し、障害の検知に適切な敷居値の見直しを行うこと。

イ. 運用管理機能

- ・ Webインターフェースを使用して、運用管理が行えること。
- ・ Webインターフェースには、次の機能を有すること。

- ① Webインターフェースへログインするためのユーザを複数設定可能なこと。
- ② ユーザ単位に各機能へのアクセス権限の設定が可能なこと。
- ③ 監視設定やデータの表示が可能なこと。
- ④ サーバ単位の障害件数が表示可能なこと。
- ⑤ 監視対象の最新データが表示可能なこと。
- ⑥ 監視項目のデータを時系列にグラフ表示可能なこと。
- ⑦ 監視対象をグループ単位にまとめることが可能なこと。
- ⑧ 検知した障害情報をサーバ単位またはグループ単位に分類するフィルタリングができること。
- ⑨ 監視対象を拠点、部署等の目的に応じたマップ表示が可能なこと。

ウ. 監視機能

- ・ 監視対象の稼働状況の監視（死活監視）が行えること。
- ・ 監視項目のデータ収集が行えること。
- ・ 収集したデータの保持期間を任意に設定できること。
- ・ 保持期間を越えたデータは自動的に削除されること。
- ・ 次の性能監視が行えること。
 - ① CPU使用率
 - ② ディスク使用率
 - ③ メモリ使用率
 - ④ ネットワーク使用率
- ・ 次の資源監視が行えること。
 - ① ディスク使用量、空き容量
 - ② メモリ使用量、空き容量
- ・ 各種サービス、デーモン、プロセスの稼働状況の監視が行えること。
- ・ 監視間隔を任意の時間に設定できること。
- ・ 障害レベル（障害、警告、情報等）を設定できること。
- ・ 障害レベル（障害、警告、情報等）に応じた色分けができること。また任意の色を設定できること。
- ・ 監視の除外期間（サーバメンテナンスによりサーバが停止する時間等は監視を行わない）を設定できること。

エ. 障害通知機能

- ・ 障害が発生した場合、Webインターフェース画面に表示され対象機器を特定できること。
- ・ 障害が発生した場合、メールの発行やコマンドの実行が行えること。
- ・ メールの記事は、任意に作成できること。

オ. その他

- ・ 監視設定を雛型として保存、再利用できること。
- ・ 収集した監視データをCSV形式でファイルに出力できること。

カ 報告書の提出

- ア. 本委託業務について、作業報告書を作成し、担当職員へ提出すること。

キ 定期定例会の開催

- ア. 点検作業、障害対応などの報告を点検に合わせて行うこと。
- イ. その際に報告書一式を納品すること。

7. ファイル暗号化

(1) ファイル暗号化機能

- ア ファイル及びフォルダ単位で右クリックすると、メニューに保護、保護解除に関わるメニューが表示され、保護、保護解除が実行できること。
- イ 自動暗号化フォルダを指定し、当該フォルダにファイルを格納した際は自動で暗号化できること。自動保護フォルダ配下のフォルダでも自動保護対象外設定ができること。また、自動保護フォルダおよび自動暗号化保護対象外フォルダは端末ローカルフォルダ及びファイルサーバ上のフォルダも指定できること。
- ウ ファイルサーバ上のフォルダを自動暗号化フォルダに指定できること。
- エ WORD、EXCELファイルの他、PDFファイル、CSVファイル、テキストファイル、一太郎のファイルなどを暗号化対象にできること。ファイル暗号化システム管理者にて、暗号化対象の拡張子、暗号化したファイルを取り扱うためのアプリケーションの設定が、任意に追加できることが望ましい。
- オ サイズの大きいファイル（1GB程度）も暗号化対象にできること。
- カ 暗号化する際、元の拡張子に変更されないこと。また、暗号化ファイルかどうかを識別するアイコンを表示する機能があること。
- キ 暗号化したファイルを利用する際、ユーザ認証を実施し、正しいユーザのみファイルを利用できること。正しいユーザかを認証するための仕組みとして、Microsoft社のActiveDirectoryのユーザおよびグループにて管理できること。
- ク 権限のある利用者は、暗号化したファイルを利用する際、平文のファイルに変換することなく利用することができること。尚、フルコントロールの権限があるユーザのみが暗号化ファイルを平文ファイルに復号できること。
- ケ ファイルを暗号化する際ユーザを指定して、データへのアクセス権（更新、参照、コピー&ペースト、印刷）を設定することができる。
- コ 認証サーバと通信できない箇所に端末を持ち出す場合、簡易な操作でファイル毎に持ち出し制御の設定を切り替える機能を有すること。
- サ イン트라ネット外の業者や取引先にファイルを共有する際、認証システムとは連動しない形で、パスワードによる暗号化ができること。
- シ 本システム独自のユーザではなく、ActiveDirectoryのユーザを利用する仕組みであること。アクセス権を設定する際は、ActiveDirectoryのセキュリティグループを指定することができること。
- ス ファイルの暗号化／復号、印刷などのログを取得することができること。ログはイベントの種類(保護・保護解除など)で、検索、結果の表示、エクスポートができる仕組みが用意されていること。
ただし、skyseaソフトで実現できれば、この機能はskyseaで実現することとし、二重での機能実現は認めない。
- セ ファイル暗号化システム管理者コンソールにて、検索したログの内容を参照やエクスポートするユーザインターフェースが用意されていること。
- ソ 管理サーバでポリシー（自動暗号化フォルダ及び暗号化対象のファイルの種類の指定、アクセス権の設定など）を一元管理することができること。
- タ ファイル暗号化する対象は、システム利用者が使用可能な範囲とする。

8. ソフトウェア

- ア Adobe Acrobat Standard 2020
 - ・ 本調達にて納入するパソコン機器17台にインストールすること。
 - ・ 残り33台にはAdobe Acrobat readerをインストールすること。
- イ CA ARCServe Backup

- ・ 以下のサーバ機器にインストールすること。

親機

- ① 情報一元化対応サーバ (ActiveDirectoryサーバ1) ×1
- ② 情報共有化サーバ ×1

子機

- ① ゲートウェイ対策サーバ ×1
- ② ウィルス対策サーバ ×1
- ③ 情報一元化対応サーバ (ActiveDirectoryサーバ2) ×1
- ④ クライアント運用管理ソフトウェア用サーバ ×1
- ⑤ 機密情報保護ソフトウェア用サーバ ×2
- ⑥ 障害監視サーバ ×1
- ⑦ ファイルサーバ ×1

- ・ 納入するものは、最新のバージョンであること。

ウ Trend Micro Apex One

- ・ 以下のサーバ、パソコン機器にインストールすること。

- ① ウィルス対策サーバ ×1
- ② 情報共有化サーバ ×1
- ③ 情報一元化対応サーバ (ActiveDirectoryサーバ1) ×1
- ④ 情報一元化対応サーバ (ActiveDirectoryサーバ2) ×1
- ⑤ クライアント運用管理ソフトウェア用サーバ ×1
- ⑥ 機密情報保護ソフトウェア用サーバ ×2
- ⑦ ファイルサーバ ×1
- ⑧ パソコン機器 ×50
- ⑨ 財務会計システム管理端末 ×1

- ・ 納入するものは、最新のバージョンであること。

エ TSSL Trend Micro Email Security Advanced

- ・ 以下のサーバ機器にインストールすること。

- ① ゲートウェイ対策サーバ ×1

- ・ 納入するものは、最新のバージョンであること。

オ ServerProtect for Linux

- ・ 以下のサーバ機器にインストールすること。

- ① ゲートウェイ対策サーバ ×1
- ② 障害監視サーバ ×1

- ・ 契約期間中にかかる費用を本調達に含めること。

- ・ 納入するものは、最新のバージョンであること。

カ SKYSEA Client View (GL)Light Edition

- ・ 以下の機能が利用できること。

- ① ユーザ管理
- ② デバイス制御
- ③ ログ監視

- ・ 現行機のデバイス制御の設定内容を引継ぐこと。

キ その他

- ・ 本システムに必要なソフトウェアおよびライセンスを用意すること。

9. データ移行について

- ア 既存のグループウェア（NEC：Star Office）のデータを原則としてすべて移行するため、ソフトウェア開発会社が正式に定めた移行方法が確立されていること。
- イ 移行に当たっては、既存システムの運用・保守を担当している業者と綿密な連携を行い、円滑な移行を行うこと。
- ウ データの抽出、加工、変換、移行にかかる費用は本調達に含む。
- エ データが問題なく移行されたかの確認、移行後の動作確認については受注者の責任の元、行うこととする。
- オ 移行作業は、移行計画について、広域連合の承認を得た上で実施すること。
- カ 移行作業において、既存システムの停止時間を必要最小限にとどめること。
- キ 既存システムを停止する必要がある場合は、事前に報告の上、停止期間の提示を行うこと。
- ク 想定される移行対象データは次の通りである。
 - ・ グループウェア
 - ① 組織情報、ユーザーID 150MB以上
 - ② メールデータ 280GB以上
 - ③ 施設予約データ 70MB以上
 - ・ 広域連合共有フォルダ
 - ① 各電子ファイル、アクセス権 410GB以上

10. バックアップ

- ア システムの障害に備えて、日次または週次のバックアップをとること。
- イ バックアップの設定は、発注者および受注者双方が協議の上決定する。
- ウ バックアップのデータ保持期間としては、30日間とする。
- エ 障害発生時には、バックアップよりシステム復旧が可能なこと。
- オ 現行システムでは、土曜日にバックアップを取得しているが、バックアップ取得時にネットワーク帯域を大幅に消費するため土曜出勤時のシステム使用に支障が出ている。
バックアップ取得時にもネットワーク遅延を起こさないよう措置すること。なお、実現方法については指定しない。

11. 障害保守

- ア 障害発生時にはシステムの監視や操作、システム管理者からの問い合わせ対応を行うこ

と。

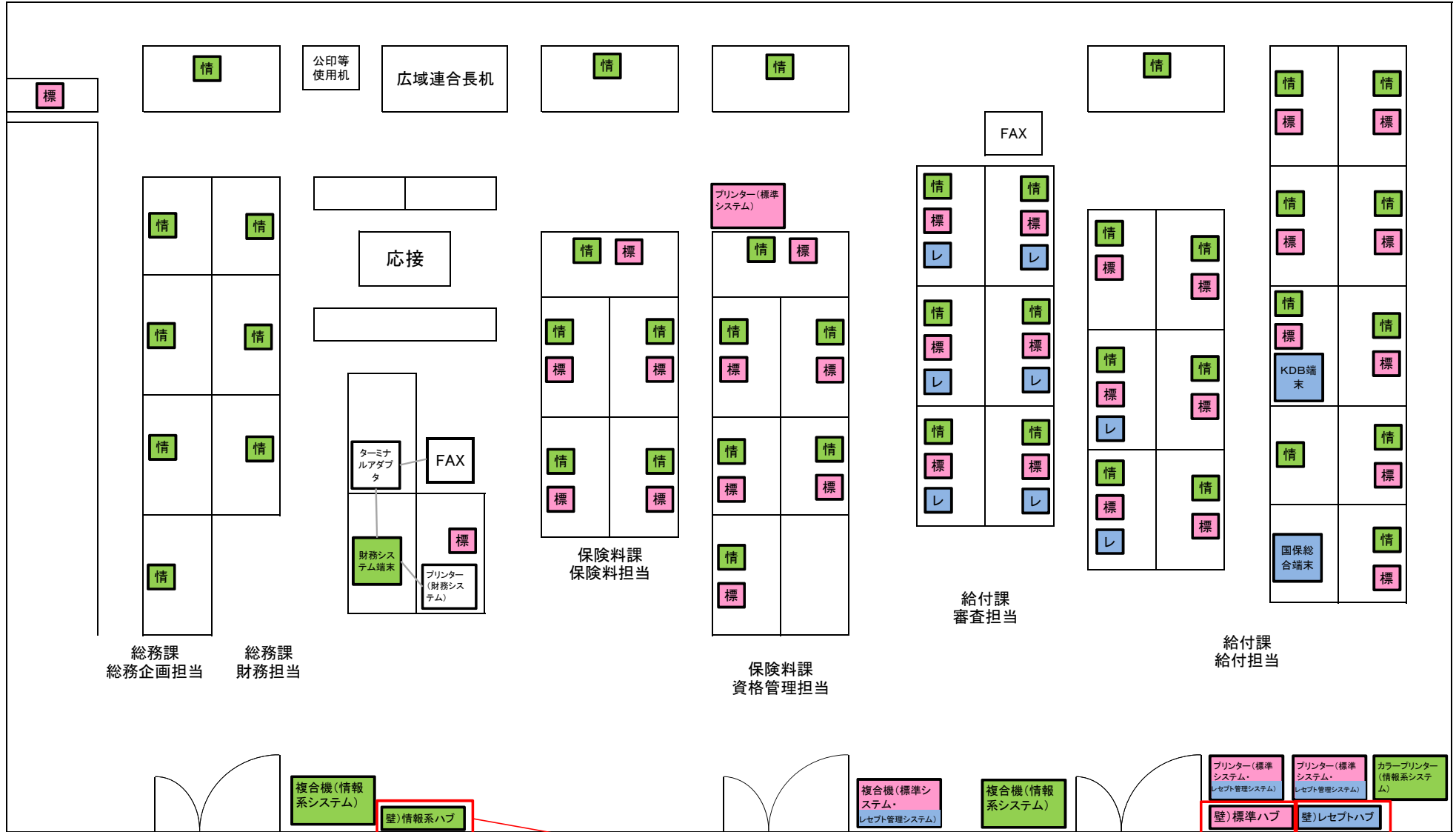
- イ 障害時の保守・修繕については、要請により技師の派遣を行う。電話受付対応 4 時間以内、サーバ、パソコン、ネットワーク機器は当日まで、プリンタ機器は翌日までに復旧させること。ただし、部品調達等のため複数日を要する場合は、発注者の承認により延長することができるものとする。
- ウ 保守・修繕の費用は機器賃借料に含める。（発注者の故意又は重過失によるものを除く）
- エ 機器の有寿命部品（ノート PC のバッテリーやプリンタのローラー等）にかかる費用は、本調達には含まない。交換が必要な場合は、発注者と協議のうえ、別途有償での対応とする。
- オ 障害により、システムの復旧を行う場合は、サーバ、ネットワーク機器は故障前の状態まで、パソコン、プリンタ機器は導入時点まで復旧させること。尚、導入時点でインストールがされていたソフトウェアは、最新の状態でインストールを行うこと。
- カ 障害対応を行うシステム管理者用の電話窓口を設けること。
- キ 電話窓口の開設時間は、24 時間 365 日とする。

12. 財務会計システムについて

本調達における情報系システムについては、以下の財務会計システムと端末を共同利用することとなるため、それを前提として構築すること。

業者名：株式会社BSNアイネット
名 称：VENAS

- ・当広域連合が指定するショートカットをデスクトップに設定し、GoogleChromeで開くようにすること。
- ・8のウ⑨のとおり、ウイルス対策ソフトについては、財務会計システム管理者端末にも導入すること。



凡例

- 情 情報系システム端末
- 標 標準システム端末
- レ レセプト管理システム端末

壁のハブは本調達範囲外。壁のハブより下流のLANケーブル及びハブを本調達の対象とする。

【別紙】 リース参考機器明細書

	品名コード	品名	数量
1. 外部メール/DNSサーバ			
1	UL4566-521	InterSec/MW400I2アプライアンスパック(S)	1
2	N8100-2832Y	Express5800/R110j-1 4x2.5型ドライブモデル	1
3	K410-E246(03)	AC電源ケーブル(3m)	2
4	N8101-1714	CPUボード(4C, 3.40GHz/E-2224)	1
5	N8102-718	8GB増設メモリボード(1x8GB/U)	2
6	N8103-193	RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	1
7	N8103-215	増設バッテリー	1
8	N8116-90	ライザカード(2xPCI)	1
9	N8150-546	増設用300GB HDD	2
10	N8151-137	内蔵DVD-ROM ドライブ	1
11	N8154-134	内蔵DVDドライブ増設キット	1
12	N8181-159	電源ユニット(500W)	2
13	N8181-180	冗長電源ケージ	1
14	UL4566-002	InterSec/MW DNS/DHCP強化オプション	1
2. インターネット接続代理サーバ (Proxy)			
1	UL4567-521	InterSec/CS400I2アプライアンスパック(S)	1
2	N8100-2832Y	Express5800/R110j-1 4x2.5型ドライブモデル	1
3	K410-E246(03)	AC電源ケーブル(3m)	2
4	N8101-1714	CPUボード(4C, 3.40GHz/E-2224)	1
5	N8102-718	8GB増設メモリボード(1x8GB/U)	2
6	N8103-193	RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	1
7	N8103-215	増設バッテリー	1
8	N8116-90	ライザカード(2xPCI)	1
9	N8150-546	増設用300GB HDD	2
10	N8151-137	内蔵DVD-ROM ドライブ	1
11	N8154-134	内蔵DVDドライブ増設キット	1
12	N8181-159	電源ユニット(500W)	2
13	N8181-180	冗長電源ケージ	1
3. ウィルス対策サーバ			
1	N8100-2951Y	Express5800/R110k-1 4x2.5型ドライブモデル	1
2	K410-E246(03)	AC100Vケーブル(3m) ※BTO組込出荷専用	2
3	N8101-1824	CPUボード(4C/3.40GHz/E-2334)	1
4	N8102-753	8GB増設メモリボード(1x8GB/U)	2
5	N8103-193	RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	1
6	N8103-215	増設バッテリー	1
7	N8116-109	ライザカード(2xPCI)	1
8	N8150-636	増設用1.2TB HDD	2
9	N8151-137	内蔵DVD-ROM ドライブ	1
10	N8154-134	内蔵DVDドライブ増設キット	1
11	N8181-159	電源ユニット(500W)	2
12	N8181-199	冗長電源ケージ	1
13	UL9020-B160	Express5800/R110k-1 Starter Pack	1
14	UL1904-001	Windows Server 2019 Standard (16Core)	1
15	UL1004-P11	Arcserve Backup 18.0 Media Kit	1
16	UL1007-P0B-I	Arcserve Backup 18.0 Client Agent for Windows	1
17		Trend Micro Apex One (新規1年)	51
18		Trend Micro Apex One (更新1年)	204

4.ゲートウェイ対策サーバ			
1	N8100-2951Y	Express5800/R110k-1 4x2.5型ドライブモデル	1
2	K410-E246(03)	AC100Vケーブル(3m) ※BTO組込出荷専用	2
3	N8101-1824	CPUボード(4C/3.40GHz/E-2334)	1
4	N8102-753	8GB増設メモリボード(1x8GB/U)	2
5	N8103-193	RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	1
6	N8103-215	増設バッテリー	1
7	N8116-109	ライザカード(2xPCI)	1
8	N8150-636	増設用1.2TB HDD	2
9	N8151-137	内蔵DVD-ROM ドライブ	1
10	N8154-134	内蔵DVDドライブ増設キット	1
11	N8181-159	電源ユニット(500W)	2
12	N8181-199	冗長電源ケージ	1
13	ULA4300-H852S	Linuxサービスセット Red Hat Enterprise Linux -EX- (v.8)(2ソケット)(5年) 9H	1
14	UL4004-A04-I	Arcserve Backup 18.0 Client Agent for Linux	1
15		TSSL Trend Micro Email Security Advanced 新規	50
16		TSSL Trend Micro Email Security Advanced 更新	200
17	UL4020-201	ServerProtect for Linux Ver3	1
5.情報共有化サーバ (StarOfficeX)			
1	N8100-2842Y	Express5800/R120h-1E 8x 2.5型モデル	1
2	K410-380(00)	内蔵SAS/SATAケーブル	1
3	K410-E246(03)	AC電源ケーブル(3m)	2
4	N8101-1592A	CPUボード(8C, 2.10GHz/Silver 4208)	1
5	N8102-720	8GB 増設メモリボード(1x8GB/R/SR)	2
6	N8103-193	RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	1
7	N8103-218	フラッシュバックアップユニット	1
8	N8103-E184	SASコントローラ	1
9	N8116-71	ライザカード(2xPCI)	1
10	N8143-135	1Uラックサーバ用レール	1
11	N8146-102	フロントベゼル	1
12	N8150-549	増設用1.2TB HDD	3
13	N8151-137	内蔵DVD-ROM ドライブ	1
14	N8154-125	内蔵DVD増設キット	1
15	N8181-159	電源ユニット(500W)	2
16	N8181-166	冗長ファンキット	1
17	N8181-174	冗長電源ケージ	1
18	UL9020-B111	Express5800/R120h-1E, 2E Starter Pack	1
19	UL1904-001	Windows Server 2019 Standard (16Core)	1
20	N8160-96	Flash FDD	1
21	N8160-100	LTO集合型 (ラックマウント用)	1
22	K410-322(02)	増設筐体接続SASケーブル(2m)	1
23	N8152-39	LTO7データカートリッジ(5巻セット)	1
24	UL1004-P10-I	Arcserve Backup 18.0 for Windows	1
25	UL1523-B01	StarOffice X Standard V5.3	1
6.情報一元化対応サーバ (ActiveDirectoryサーバ1)			
1	N8100-2842Y	Express5800/R120h-1E 8x 2.5型モデル	1
2	K410-380(00)	内蔵SAS/SATAケーブル	1
3	K410-E246(03)	AC電源ケーブル(3m)	2
4	N8101-1592A	CPUボード(8C, 2.10GHz/Silver 4208)	1
5	N8102-720	8GB 増設メモリボード(1x8GB/R/SR)	2
6	N8103-193	RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	1
7	N8103-218	フラッシュバックアップユニット	1
8	N8103-E184	SASコントローラ	1
9	N8116-71	ライザカード(2xPCI)	1

10	N8143-135	1Uラックサーバ用レール	1
11	N8146-102	フロントベゼル	1
12	N8150-547	増設用600GB HDD	2
13	N8151-137	内蔵DVD-ROM ドライブ	1
14	N8154-125	内蔵DVD増設キット	1
15	N8181-159	電源ユニット(500W)	2
16	N8181-166	冗長ファンキット	1
17	N8181-174	冗長電源ケージ	1
18	UL1904-001	Windows Server 2019 Standard (16Core)	1
19	N8160-100	LTO集合型 (ラックマウント用)	1
20	K410-322(02)	増設筐体接続SASケーブル(2m)	1
21	N8152-39	LTO7データカートリッジ(5巻セット)	1
22	UL1004-P10-I	Arcserve Backup 18.0 for Windows	1
7.情報一元化対応サーバ (ActiveDirectoryサーバ2)			
1	N8100-2951Y	Express5800/R110k-1 4x2.5型ドライブモデル	1
2	K410-E246(03)	AC100Vケーブル(3m) ※BTO組込出荷専用	2
3	N8101-1824	CPUボード(4C/3.40GHz/E-2334)	1
4	N8102-753	8GB増設メモリボード(1x8GB/U)	2
5	N8103-193	RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	1
6	N8103-215	増設バッテリー	1
7	N8116-109	ライザカード(2xPCI)	1
8	N8150-636	増設用1.2TB HDD	2
9	N8151-137	内蔵DVD-ROM ドライブ	1
10	N8154-134	内蔵DVDドライブ増設キット	1
11	N8181-159	電源ユニット(500W)	2
12	N8181-199	冗長電源ケージ	1
13	UL1904-001	Windows Server 2019 Standard (16Core)	1
14	UL1032-HB03	WebSAM AlertManager Ver4.2(1年間保守つき)	1
15	UL1007-P0B-I	Arcserve Backup 18.0 Client Agent for Windows	1
8.クライアント運用管理ソフトウェア用サーバ (SKYSEA ClientView)			
1	N8100-2951Y	Express5800/R110k-1 4x2.5型ドライブモデル	1
2	K410-E246(03)	AC100Vケーブル(3m) ※BTO組込出荷専用	2
3	N8101-1824	CPUボード(4C/3.40GHz/E-2334)	1
4	N8102-753	8GB増設メモリボード(1x8GB/U)	2
5	N8103-193	RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	1
6	N8103-215	増設バッテリー	1
7	N8116-109	ライザカード(2xPCI)	1
8	N8150-636	増設用1.2TB HDD	2
9	N8151-137	内蔵DVD-ROM ドライブ	1
10	N8154-134	内蔵DVDドライブ増設キット	1
11	N8181-159	電源ユニット(500W)	2
12	N8181-199	冗長電源ケージ	1
13	UL1904-001	Windows Server 2019 Standard (16Core)	1
14	UL1007-P0B-I	Arcserve Backup 18.0 Client Agent for Windows	1
15		SKYSEA (GL) Light Edition サーバライセンス	1
16		SKYSEA (GL) Light Edition クライアントライセンス	50
17		SKYSEA (GL) Light Edition サーバライセンス 保守4年	1
18		SKYSEA (GL) Light Edition クライアントライセンス 保守4年	50

9.機密情報保護ソフトウェア用サーバ			
1	N8100-2951Y	Express5800/R110k-1 4x2.5型ドライブモデル	2
2	K410-E246(03)	AC100Vケーブル(3m) ※BTO組込出荷専用	4
3	N8101-1824	CPUボード(4C/3.40GHz/E-2334)	2
4	N8102-753	8GB増設メモリボード(1x8GB/U)	4
5	N8103-193	RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	2
6	N8103-215	増設バッテリー	2
7	N8116-109	ライザカード(2xPCI)	2
8	N8150-636	増設用1.2TB HDD	4
9	N8151-137	内蔵DVD-ROM ドライブ	2
10	N8154-134	内蔵DVDドライブ増設キット	2
11	N8181-159	電源ユニット(500W)	4
12	N8181-199	冗長電源ケージ	2
13	UL1904-001	Windows Server 2019 Standard (16Core)	2
14	UL1007-P0B-I	Arcserve Backup 18.0 Client Agent for Windows	2
15	UL1668-A01-I	InfoCage FileShell V6.0 メディアキット	1
16	UL1668-A12-I	InfoCage FileShell V6.0 ベースライセンス(10User)	5
17		OpnGov SQL Server Standard Edition 2019(J/E) Std	1
18		OpnGov SQL CAL 2019(J/E) Std ユーザーCAL	50
19		OpnGov Windows Server CAL 2019(J/E) Std ユーザーCAL	50
20		OpnGov Windows Rights Mgmt Services CAL 2019(J/E) Std ユーザーCAL	50
10.障害監視サーバ			
1	N8100-2951Y	Express5800/R110k-1 4x2.5型ドライブモデル	1
2	K410-E246(03)	AC100Vケーブル(3m) ※BTO組込出荷専用	2
3	N8101-1824	CPUボード(4C/3.40GHz/E-2334)	1
4	N8102-753	8GB増設メモリボード(1x8GB/U)	2
5	N8103-193	RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	1
6	N8103-215	増設バッテリー	1
7	N8116-109	ライザカード(2xPCI)	1
8	N8150-636	増設用1.2TB HDD	2
9	N8151-137	内蔵DVD-ROM ドライブ	1
10	N8154-134	内蔵DVDドライブ増設キット	1
11	N8181-159	電源ユニット(500W)	2
12	N8181-199	冗長電源ケージ	1
13	ULA4300-H852S	Linuxサービスセット Red Hat Enterprise Linux -EX- (v.8)(2ソケット)(5年)(標準時間)	1
14	UL4004-A04-I	Arcserve Backup 18.0 Client Agent for Linux	1
12		MIRACLE ZBX 5.0	1
13	ULH1S-1297-021	PPSupportPack(MIRACLE ZBXサポートサービス(無制限))	5
14	UL4020-201	ServerProtect for Linux Ver3	1
11.ファイルサーバ			
1	NF8100-271Y	iStorage NS300Rj (4TB)	1
2	K410-E246(03)	AC電源ケーブル(3m)	1
3	N8151-137	内蔵DVD-ROM ドライブ	1
4	N8181-159	電源ユニット(500W)	1
5	N8181-166	冗長ファンキット	1
6	ULH5S-0000-060	PPSupportPack(Windows Storage Server 2019)(5年)	1
7	UL1007-P0B-I	Arcserve Backup 18.0 Client Agent for Windows	1
12.ラック関連			
1	N8143-106	17型LCDコンソールユニット(8Server)	1
2	N8191-14	サーバスイッチユニット(8Server)	1
3	K410-119(1A)	スイッチユニット接続ケーブルセット(1.8m)	1
4	K410-118(1A)	スイッチユニット接続USBケーブルセット(1.8m)	12
5	N8140-97	汎用トレイ	1

13.情報系パソコン			
1	PC-VKL41XZFB	VKL41/X-B・Win10Pro/11DG・Ci3	50
2	PC-K-LND5HB	15.6型ワイドHD液晶(1366x768ドット)	50
3	PC-K-HHD50B	500GB HDD	50
4	PC-K-MDD80B	8GBメモリ(4GB×2)	50
5	PC-K-C8DDVB	DVD-ROMドライブ	50
6	PC-K-NWX2BB	無線LAN(IEEE802.11ax)&Bluetooth	50
7	PC-K-KBXTNB	テンキー付きキーボード	50
8	PC-K-PDDUH7	USB 光センサーマウス	50
9	PC-K-KTD16B	標準添付品セット	50
10	PC-K-BCD16B	再セットアップDVD(Win10 Pro)	50
14.プリンタ			
1	PR-L3C750	Color MultiWriter 3C750	1
2	PR-L3C750-02	2トレイモジュール	1
15.ネットワーク機器			
1		SONICWALL NSA 2650 JPN	1
2		GATEWAY ANTI-MALWARE INTRUSION PREVENTION AND AC FOR NSA 2650 5Y	1
3		STANDARD SUPPORT FOR NSA 2650 5YR	1
4	BI000087	UNIVERGE IX2106	1
5	BI000069	19インチラック取付棚1U3	1
6	B02014-01101	QX-S1108GT-2G	1
7	B02014-05602	QX-S5648GT-4X2Q	1
16.ソフトウェア			
1	どちらか1種類	Adobe Acrobat Standard 2020	17
2		Adobe Acrobat reader	33
3		All LanguagesGOV一括 初年度 Office Professional Plus L&SA	50
4		Single Language GOV一括 初年度 WIN ENT per DVC UPG&SA	50